

第1会場 (1F イベントホール東)

8:30~9:50

シンポジウム1 アブレーションの成績向上に向けた取り組み

司会：建石 良介（東京大学大学院医学系研究科 内科学専攻器官病態内科学講座）

児玉 芳尚（医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 放射線診断科）

- SY1-1 維持透析中の肝細胞癌患者における経皮的焼灼治療の安全性と有効性について：背景を揃えた解析での検討
大木 隆正（塩田記念病院 肝臓内科／三井記念病院 消化器内科）
- SY1-2 当院におけるIVR-CT併用ablationの実態について
狩山 和也（岡山市立市民病院 消化器内科）
- SY1-3 RFA施行後の胆管拡張の頻度及び危険因子に関する検討
法水 淳（大阪労災病院 消化器内科）
- SY1-4 当院における胆管冷却下RFAの初期経験
向井 香織（大阪国際がんセンター）
- SY1-5 当院における15G針を用いたラジオ波焼灼療法の実施状況
竹内 康人（岡山大学病院 消化器内科）
- SY1-6 Child-Pugh分類Bの早期肝細胞癌に対するアブレーションの治療成績－肝切除との比較－
畑中 健（群馬県済生会前橋病院 消化器内科／RELPEC/HCC48）
- SY1-7 当院における3cm、3個以下の肝細胞癌に対する初回治療とミラノ基準外再発に関する検討
木戸 秀典（金沢大学附属病院 消化器内科）
- SY1-8 Intermediate stageにおけるアブレーション治療の生存期間延長に対する貢献について
二宮 匡史（東北大学病院 消化器内科）

10:00~10:50

ワークショップ1 転移性肝癌に対するアブレーション

司会：寺谷 卓馬（NTT 東日本関東病院 肝胆膵内科）

大木 隆正（塩田記念病院 肝臓内科&サイバーナイフセンター）

- WS1-1 5個以上の大腸癌肝転移に対するマイクロ波凝固壊死療法手術における5年生存症例および術後5年時無担癌症例の特徴
和田 幸之（国立病院機構九州医療センター 肝胆膵外科・臨床研究センター）
- WS1-2 膵癌肝転移における経皮ablation治療の意義
相原 司（明和病院 外科）

- WS1-3 直腸NETの術後多発肝転移に対してfusion imaging下RFAを繰り返した1例
神保 遼（済生会新潟病院 消化器内科）
- WS1-4 Solid pseudopapillary neoplasmの肝転移病変に対するラジオ波焼灼術により生じた肝破裂の1例
平 知尚（国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科）
- WS1-5 肝転移を伴う小腸間葉系腫瘍に対し化学療法後、原発巣切除と肝転移に対する焼灼術を行い、長期生存が得られた一例
巽 信之（JCHO 大阪病院 消化器内科）
- WS1-6 大腸癌以外の転移性肝癌に対する経皮アブレーション治療 – 単一施設の経験から –
相原 司（明和病院 外科）

10:50～11:30

ワークショップ2 治療困難部位のアブレーション

司会：大西 秀樹（岡山大学病院 消化器内科）
菅原 俊祐（国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 放射線診断科）

- WS2-1 80歳以上の高齢者に対する人工胸水併用下ラジオ波焼灼療法の安全性
井上 佳苗（国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科）
- WS2-2 新規デバイス15G針を用いたラジオ波焼灼術の初期経験 – high risk locationに対する有効性と安全性 –
畑中 健（群馬県済生会前橋病院 消化器内科）
- WS2-3 治療困難部位であることが肝細胞癌に対するマイクロ波凝固療法に与える影響
中村 進一郎（姫路赤十字病院）
- WS2-4 当院におけるRFA困難部位肝細胞癌に対する放射線治療と経皮的ラジオ波焼灼術の比較検討
田中 紘介（飯塚病院 肝臓内科）
- WS2-5 直腸癌骨盤内再発に対するRFA
谷口 純一（兵庫医科大学病院 放射線科）

11:50~12:40

ランチョンセミナー1

肝細胞癌におけるがん免疫療法の基礎と薬物療法および局所療法に関する最新の話

司会：山下 竜也（金沢大学先進予防医学研究センター）

LS1-1 基礎から考える肝細胞癌への複合免疫療法
富樫 庸介（岡山大学学術研究院医歯薬学域 腫瘍微小環境学分野）

LS1-2 進行肝癌の治療戦略とアブレーション
建石 良介（東京大学大学院医学系研究科 消化器内科学）

共催：中外製薬株式会社

12:50~14:10

ジョイントシンポジウム 最新機器情報

司会：椎名 秀一郎（順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科）
山門 亨一郎（兵庫医科大学病院 放射線科）
中村 進一郎（姫路赤十字病院 内科）

JSY-1 VIVARFAシステムのひろがり
山下 修（センチュリーメディカル株式会社）
共催：センチュリーメディカル株式会社

JSY-2 arfa –正確な焼灼とユーザーフレンドリーを追加した国産RFAシステム–
施 凱文（日本ライフライン株式会社）
共催：日本ライフライン株式会社

JSY-3 3種類のゲージサイズを選択できるMimapro マイクロ波アブレーションシステムのご紹介
天根 拓也（シーマン株式会社 マーケティング部）
共催：シーマン株式会社

JSY-4 継続的な実臨床使用で見えたEmprint™の特徴
中村 進一郎（姫路赤十字病院 内科）
共催：コヴィディエンジャパン株式会社

JSY-5 アブレーションを支援する最新の超音波診断装置
尾高 北斗（キヤノンメディカルシステムズ株式会社 国内営業本部 超音波営業部）
共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

スイーツセミナー1

肝癌アブレーションの創意工夫 – arfa RF ABLATION SYSTEMの有用性を交えて–

司会：石川 達（済生会新潟病院 予防医療センター・消化器内科）

SS1-1 **ゼロから始める一般地域病院におけるRFA治療**
 國本 英雄（長野市民病院 肝臓内科・内視鏡超音波センター）

SS1-2 **肝癌免疫療法と局所療法の最近の話題**
 山下 竜也（金沢大学先進予防医学研究センター）

共催：日本ライフライン株式会社

第2会場 (2F レセプションホール)

8:30~9:05

プレナリーセッション1 肺・腎・骨軟部、甲状腺、乳房など

司会：松本 知博（高知大学医学部 放射線診断・IVR 学講座）

- PS1-1 Child-Pugh Bのミラノクライテリア基準内肝細胞癌に対するラジオ波焼灼術の治療成績：Performance status別の検討
多田 藤政（愛媛県立中央病院 消化器内科）
- PS1-2 短軸方向の焼灼拡大を目指したRFA治療の工夫 - alfaのリニアモードを利用して -
葛谷 貞二（藤田医科大学 消化器内科）
- PS1-3 内視鏡的乳頭バルーン拡張術後症例における肝細胞癌に対するラジオ波焼灼術の安全性
森山 慎（東京大学医学部附属病院 消化器内科）
- PS1-4 体幹部定位放射線治療とラジオ波焼灼療法との長期成績比較・肝予備能との関連についての検討
本吉 康英（独立行政法人国立病院機構長崎医療センター）

9:10~10:20

シンポジウム2 薬物療法とアブレーション

司会：池田 公史（国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科）
佐藤 洋造（特定機能病院愛知県がんセンター 放射線診断・IVR 部）

- SY2-1 切除不能肝細胞癌に対するコンバージョン焼灼療法
前島 秀哉（和歌山県立医科大学 内科学第二講座）
- SY2-2 肝細胞癌に対するAtezolizumab+Bevacizumab療法PD症例に対する局所療法add on治療の検討
石川 達（済生会新潟病院 消化器内科）
- SY2-3 複合免疫療法時代に肝細胞癌に対するラジオ波治療で免疫アジュバント治療をすべき症例とは？
平岡 淳（愛媛県立中央病院 消化器内科）
- SY2-4 免疫複合療法治療後の奏功例におけるコンバージョン治療の有用性の検討
野田 悠（久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門）
- SY2-5 切除不能肝細胞癌に対するAblationを用いたConversion therapyの有効性 - 治療後経過や長期成績について
友成 哲（徳島大学病院 消化器内科）
- SY2-6 切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ療法とラジオ波焼灼療法併用の治療成績と安全性
中堀 輔（大阪国際がんセンター 肝胆膵内科）

SY2-7 肝細胞癌に対するアテゾリズマブとベバシズマブ併用療法後のcurative conversionについて：その予測因子と治療成績

畑中 健（群馬県済生会前橋病院 消化器内科／RELPEC/HCC48）

10:20～11:35

ワークショップ3 甲状腺・乳房・婦人科領域に対するアブレーション

司会：福成 信博（昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター／外科系診療センター）

保本 卓（都島放射線科クリニック IVRセンター）

WS3-1 当院におけるマイクロターゼを用いた過多月経治療の実際

辻 芳之（明和病院 産婦人科）

WS3-2 橋本病及びバセドウ病術後再発に対するラジオ波焼灼療法（RFA）の治療効果

中野 賢英（昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター）

WS3-3 甲状腺ラジオ波焼灼療法後に手術を行った症例の病理学的検討

塚本 大樹（昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター）

WS3-4 甲状腺腫瘍に対するラジオ波焼灼術の経験

保本 卓（都島放射線科クリニック IVRセンター）

WS3-5 甲状腺癌術後乳腺転移に対するTAE併用ラジオ波焼灼術

保本 卓（都島放射線科クリニック IVRセンター）

WS3-6 乳癌に対する経皮的ラジオ波熱凝固療法の検討

神尾 英則（がん・感染症センター 都立駒込病院 外科（乳腺））

WS3-7 早期乳癌に対するラジオ波焼灼療法の治療プロトコールと標準的手技

高山 伸（国立がん研究センター中央病院 乳腺外科）

WS3-8 当院における早期乳癌に対するRFA療法の治療成績

高橋 三奈（国立病院機構四国がんセンター）

WS3-9 早期の原発性乳がんに対する経皮的超音波ガイド下凍結療法の安全性と有効性のPilot Study

川本 久紀（聖マリアンナ医科大学 プレスト&イメージングセンター／聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科）

11:50~12:40

ランチョンセミナー2 局所療法と薬物療法の融合を目指して

司会：中村 進一郎（姫路赤十字病院）

- LS2-1 さらなる根治的治療を目指したLEN-RFAの意義と可能性
 國本 英雄（長野市民病院 肝臓内科／内視鏡科／内視鏡超音波センター）
- LS2-2 これからのIntermediate stage HCCにおけるLEN-局所療法の位置づけ
 谷木 信仁（慶應義塾大学医学部 消化器内科）
- 共催：エーザイ株式会社

12:50~13:50

シンポジウム3 アブレーションとトランスレーショナルリサーチ

司会：中川 勇人（三重大学大学院医学系研究科 臨床医学系講座 消化器内科学）
 高木 治行（兵庫医科大学 放射線医学教室）

- SY3-1 膵神経内分泌腫瘍に対する超音波内視鏡ガイド下エタノール注入療法
 松本 和幸（岡山大学病院 消化器内科）
- SY3-2 ピュアスタットの肝穿刺手技における有用性・安全性についての基礎的検討
 田尻 和人（富山大学医学部 第三内科）
- SY3-3 ラジオ波焼灼療法とアテゾリズマブ・ベバシズマブ療法の併用による新規肝がん免疫療法の開発
 中河 秀俊（金沢大学附属病院 消化器内科）
- SY3-4 穿刺局所療法による腫瘍免疫応答と免疫チェックポイント阻害剤併用による有用性の評価
 征矢 良子（東京医科大学 消化器内科学分野）
- SY3-5 肺RFA患者の血液中exosome由来のmicroRNAのガン増殖作用
 平田 豊（兵庫医科大学医学部 生理学生体機能部門）
- SY3-6 肝細胞癌アブレーション治療後経過予測を目的としたTERT promoter変異陽性cell free DNAの検討
 村岡 優（山梨大学 消化器内科）

13:50~14:25

プレナリーセッション2 肺・腎・骨軟部、甲状腺、乳房など

司会：曾根 美雪（国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 放射線診断科）

- PS2-1 LSMから推定した門脈圧亢進症を合併した早期肝細胞癌に対するAblationは肝予備能を低下させるか
中井 正人（北海道大学病院 消化器内科）
- PS2-2 アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法における局所療法追加を検討すべき患者の同定
安井 豊（武蔵野赤十字病院 消化器内科）
- PS2-3 低出力開始・単回roll-off法によるラジオ波焼灼術と従来法の比較検討
矢野 怜（愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学）
- PS2-4 専攻医によるファントムモデルを用いた穿刺治療練習
福家 和諭（高松赤十字病院 消化器内科）

14:40~15:30

スイーツセミナー2 Experiences with Mimapro

司会：上甲 康二（社会福祉法人恩賜財団済生会西条病院 肝胆脾内科）

- SS2-1 Mimaproを用いたマイクロ波焼灼療法でできること
佐伯 一成（山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学）
- SS2-2 細径マイクロ波アンテナを使いこなすために必要なこと
廣岡 昌史（愛媛大学大学院医学系研究科医学専攻 消化器・内分泌・代謝内科学）
- 共催：シーマン株式会社

第3会場 (2F 展示ホール)

8:30~9:10

ワークショップ4 アブレーションとナビゲーション

司会：南 康範（近畿大学医学部 消化器内科）
富田 晃司（岡山大学病院 放射線科）

- WS4-1 各社の超音波診断装置でのUS-US fusionガイドの設定方法：アップデート
南 康範（近畿大学医学部 消化器内科）
- WS4-2 肝内門脈分岐パターンによるフュージョンイメージと検者経験年数との関係
中村 由子（愛媛大学大学院医学系研究科）
- WS4-3 超音波画像で描出困難な肝細胞癌に対するリアルタイムナビゲーション支援を用いたマイクロ波焼灼療法の検討
谷木 信仁（慶應義塾大学医学部 内科学(消化器)）
- WS4-4 ラジオ波焼灼療法前の超音波検査におけるFusion Imagingが有用な選択基準
西村 尚起（奈良県立医科大学 消化器代謝内科）
- WS4-5 Smart fusion systemを用いた肝癌局所治療治療戦略
佐々木 恭（川崎医科大学 消化器内科学）

9:10~10:10

ワークショップ5 腎・副腎に対するアブレーション

司会：藤森 将志（三重大学医学部附属病院 放射線科）
西尾福 英之（奈良県立医科大学 放射線・核医学科）

- WS5-1 T1aステージ腎癌に対する経皮的ラジオ波焼灼術：単施設・長期成績
藤森 将志（三重大学医学部 放射線科）
- WS5-2 腎癌に対する経皮的凍結治療後に生じた結腸-腫瘍瘻に対して保存的治療を施行した1例
菅原 俊祐（国立がん研究センター中央病院 放射線診断科）
- WS5-3 腎凍結療法後に門脈血栓を生じた一例
川端 隆寛（岡山大学病院 放射線科）
- WS5-4 Balloon dissectionにより尿管損傷を回避し得た腎凍結療法の3例
馬越 紀行（岡山大学病院 放射線科）
- WS5-5 腎類上皮型血管筋脂肪腫 (Epithelioid angiomyolipoma) に対し凍結療法を施行した一例
宗友 一晃（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学／姫路聖マリア病院）
- WS5-6 ラジオ波焼灼療法を行った肝細胞癌両側副腎転移の1例
柴田 啓志（徳島県立中央病院 消化器内科）

WS5-7 副腎褐色細胞腫に対してRFAを施行した1例

加古 泰一（兵庫医科大学 放射線科）

10:20~11:40

パネルディスカッション アブレーションの教育

司会：土谷 薫（武蔵野赤十字病院 消化器内科）

高見 裕子（独立行政法人国立病院機構九州医療センター 肝胆膵外科）

PD-1 最善の医療提供と若手医師の修練との狭間で

南 康範（近畿大学医学部 消化器内科）

PD-2 肝腫瘍に対する経皮的アブレーション治療 (PAT) における診療看護師 (NP) の役割と効果

川村 弘樹（信和会 明和病院）

PD-3 当院での穿刺治療前トレーニング【Bモードの基本も含めて】

小川 力（高松赤十字病院 消化器・肝臓内科／近畿大学医学部 消化器内科）

PD-4 当院におけるアブレーションを含む穿刺治療の実技指導法について

今城 健人（新百合ヶ丘総合病院 消化器内科／福島県立医科大学 低侵襲腫瘍制御学講座）

PD-5 当科での腹部超音波検査およびアブレーションの教育

打田 佐和子（大阪公立大学大学院医学研究科 先端予防医療学／大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学）

PD-6 動画を利用した肝アブレーション治療の教育

小宮山 泰之（山梨大学 消化器内科）

PD-7 超音波ガイド下アブレーション技術習得のためのトレーニングプログラム

椎名 秀一郎（順天堂大学大学院医学研究科 消化器内科）

11:50~12:40

ランチョンセミナー3

司会：大塚 基之（岡山大学学術研究医歯薬学域 消化器・肝臓内科学）

LS3 Rationaleから考えるイミフィンジ・イジユドの併用《STRIDEレジメン》の位置づけ

加藤 直也（千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学）

共催：アストラゼネカ株式会社

12:50~13:40

ビデオワークショップ 肝臓

司会：山下 竜也（金沢大学附属病院 消化器内科）
新槇 剛（静岡県立静岡がんセンター IVR 科）

- BWS-1 当院における人工腹水および人工胸水の作成方法と使用頻度
中村 進一郎（姫路赤十字病院 内科）
- BWS-2 TSKガイドニードルを用いた人工胸水作製と治療困難症例に対するラジオ波焼灼療法の実際
高田 昇（金沢大学附属病院 消化器内科）
- BWS-3 肝細胞癌に対するRFA後の遅発性出血に対して腹腔鏡下に焼灼止血した1例
玉井 努（鹿児島市立病院 消化器内科）
- BWS-4 肝腫瘍のアブレーションにおけるセミフリーハンド法の有用性
大川 和良（大阪国際がんセンター 肝胆膵内科）
- BWS-5 セミフリーハンド法による電極挿入
寺谷 卓馬（NTT 東日本関東病院 肝胆膵内科）

13:50~14:30

ワークショップ6 肺に対するアブレーション

司会：平木 隆夫（岡山大学学術研究院医歯薬学域 放射線医学）
山本 晃（大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR 学）

- WS6-1 肺悪性腫瘍に対するRFA
児玉 芳尚（手稲溪仁会病院 放射線診断科）
- WS6-2 原発性肺癌および転移性肺癌に対する液体窒素を用いた凍結治療
野守 裕明（柏厚生総合病院）
- WS6-3 腺様嚢胞癌多発性肺転移に対する肺ラジオ波焼灼術：16例270肺結節に対する安全性、有効性の検討
藤森 将志（三重大学医学部 放射線科）
- WS6-4 肝細胞癌肺転移に対してCTガイド下ラジオ波焼灼療法を施行した2例
川端 将生（大阪国際がんセンター 肝胆膵内科）
- WS6-5 悪性胸膜中皮腫再発病変に対するRFA
児玉 大志（兵庫医科大学 放射線科）

14:40～15:30

スイーツセミナー3

司会：大西 秀樹（岡山大学病院 消化器内科）

SS3 肝細胞癌の治療 Up date ～テセントリク+アバスチン治療 実臨床から得られた知見～
河岡 友和（広島大学病院 消化器内科）

共催：中外製薬株式会社

ポスター会場 (1F イベントホール西)

15:40~16:04

ポスター1 合併症

司会：別府 透 (山鹿市民医療センター)

- P1-1 ラジオ波焼灼術後の穿孔部位の特定にガストログラフィン造影が有用であった1例
名和 誉敏 (市立東大阪医療センター 消化器内科)
- P1-2 肝細胞癌アブレーション後に遅発性の気管支胆管瘻を発症した1例
藤岡 毅 (山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学)
- P1-3 肝細胞癌に対するマイクロ波熱凝固療法に合併した難治性気胸の1例
高木 慎太郎 (広島赤十字・原爆病院 消化器内科)
- P1-4 肝細胞癌RFA後気管支胆管瘻に対してEndobronchial Watanabe Spigotを用いた気管支充填術であった一例
大久保 裕直 (順天堂大学練馬病院 消化器内科)

16:04~16:28

ポスター2 マイクロ波

司会：相原 司 (明和病院 外科)

- P2-1 当院におけるマイクロ波焼灼療法の現状
片岡 祐俊 (鳥根大学医学部附属病院 肝臓内科)
- P2-2 当科におけるMWAの使用経験と今後の課題
武藤 芳美 (大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学)
- P2-3 当院における肝細胞癌に対するマイクロ波凝固療法の治療成績
内川 慎介 (広島大学病院 消化器内科)
- P2-4 肝細胞癌に対するマイクロ波焼灼術とラジオ波焼灼術の比較検討
江種 真穂 (山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学)

16:28~16:46

ポスター3 マイクロ波・15G針

司会：大川 和良 (大阪国際がんセンター 肝胆膵内科)

- P3-1 初発肝細胞癌に対する次世代マイクロ波凝固療法はラジオ波焼灼療法と比較して根治困難再発と癌関連死のリスクが低い
玉井 秀幸 (和歌山労災病院 肝臓内科)

- P3-2 当院におけるマイクロ波アブレーションシステムMimapro[®]17Gの使用状況
西島 規浩（明和病院 内科）
- P3-3 15G可変型ニードルを用いた肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法
小澤 喬（岡山市立市民病院 消化器内科）

15:40~16:04

ポスター4 15G針・Intermediate

司会：小川 力（高松赤十字病院 消化器・肝臓内科／近畿大学医学部 消化器内科）

- P4-1 肝細胞癌アブレーション治療における15G viva針の有用性
大山 淳史（広島市立広島市民病院）
- P4-2 VIVA RF 15G針を使用したRFAの初期使用経験
伊在井 亮（千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学）
- P4-3 Child B肝癌に対するマイクロ波凝固療法
村上 詩歩（姫路赤十字病院 消化器内科）
- P4-4 Child B Early stage HCCに対するRFAの治療成績
三宅 望（岡山大学病院 消化器内科）

16:04~16:28

ポスター5 Intermediate・症例

司会：児玉 大志（兵庫医科大学 放射線科）

- P5-1 Child-Pugh分類Bのミラノクライテリア内HCC症例におけるRFAが肝予備能に与える影響
中谷 康輔（愛媛県立中央病院 消化器内科）
- P5-2 当院でのChild-Pugh分類B肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法の治療成績
千葉 智義（金沢大学附属病院 消化器内科）
- P5-3 RFAを中心に据えたIntermediate stage HCCに対する当院での治療戦略
上甲 康二（済生会西条病院 内科）
- P5-4 肝細胞癌に対する経皮的穿刺焼灼療法における画像ナビゲーションとAFP評価の重要性
田尻 和人（富山大学医学部 第三内科）

16:28~16:46

ポスター6 腹腔鏡

司会：田尻 和人（富山大学医学部 第三内科）

- P6-1 腹腔鏡下に腸管をどけてマイクロ波焼灼術 (MWA) を施行した Chilaiditi 症候群を合併した肝細胞癌の一例
赤羽 武弘（石巻赤十字病院 消化器内科）
- P6-2 ICG 蛍光法を用いた腹腔鏡下ラジオ波焼灼術が有用であった肝細胞癌の1例
玉井 康将（三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科）
- P6-3 腹腔鏡下ラジオ波焼灼術を施行した初発肝細胞癌患者の再発と予後に関する検討
五家 里栄（自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門）

15:40~16:04

ポスター7 臨床(1)

司会：西村 貴士（兵庫医科大学 消化器内科学／超音波センター）

- P7-1 Hydrodissection 併用の CT 透視下ラジオ波焼灼療法が有用であった術後再発肝細胞癌の1例
佐藤 洋造（愛知県がんセンター 放射線診断・IVR 部）
- P7-2 ルストロンボパグによる血小板低値肝細胞癌患者に対する安全な RFA を目的とした出血合併症予防
吉田 英雄（日本赤十字社医療センター）
- P7-3 データベースを活用したラジオ波焼灼療法における患者管理の検討
廣澤 宏（済生会新潟病院 臨床工学室）
- P7-4 IVR-CT を用いた TACE 同時併用 RFA
新槇 剛（静岡県立静岡がんセンター IVR 科）

16:04~16:28

ポスター8 臨床(2)

司会：打田 佐和子（大阪公立大学大学院医学研究科 先端予防医療学）

- P8-1 肝細胞癌に対する TACE 併用 CT ガイド下ラジオ波焼灼療法の治療成績と合併症
村井 一超（大阪公立大学大学院医学系研究科 放射線診断学・IVR 学）
- P8-2 TACE 併用 RFA の有用性とリスクに関する検討
林 倫留（仙台厚生病院 肝臓内科）
- P8-3 肝細胞癌に対する RFA と重粒子線による集学的局所療法の検討
福島 泰斗（神奈川県立がんセンター）

- P8-4 超高齢肝細胞癌患者に対する経皮的ラジオ波焼灼術の治療成績の検討
高浦 健太 (武蔵野赤十字病院 消化器内科)

16:28~16:46

ポスター9 臨床(3)

司会：柴田 啓志 (徳島県立中央病院 消化器内科)

- P9-1 HCC RFA後、C型肝炎ウイルス駆除後の適切な観察期間を推定する試み
濱村 啓介 (静岡市立静岡病院 消化器内科)
- P9-2 経皮的ラジオ波焼灼療法(RFA)で根治が得られた肝細胞癌症例における Geriatric Nutritional Risk Index (GNRI) の予後予測能
筒井 朱美 (香川県立中央病院 肝臓内科)
- P9-3 初回治療でラジオ波焼灼術を施行したミラノクライテリア内肝細胞癌の腫瘍マーカー上昇と予後
福本 真惟 (愛媛県立中央病院 消化器内科)

15:40~16:04

ポスター10 コンバージョン

司会：稲葉 吉隆 (愛知県がんセンター 放射線診断・IVR 部)

- P10-1 化学療法が奏功後に経皮的ラジオ波焼灼療法を施行した肝細胞癌の三例
岩尾 正雄 (大分大学医学部附属病院 消化器内科)
- P10-2 アテソリズマブ+ベバシズマブ併用治療のコンバージョン治療としてRFAを施行した2症例の検討
田中 崇 (福岡大学病院 消化器内科)
- P10-3 マイクロ波焼灼療法によりコンバージョンできた結節型の大型肝細胞癌症例
田中 正俊 (ヨコクラ病院 臨床研究センター)
- P10-4 ソラフェニブRFA sequential療法が奏効したBCLC-B肝細胞癌の1例
柴田 啓志 (徳島県立中央病院 消化器内科)

16:04~16:28

ポスター11 応用症例

司会：石川 達 (済生会新潟病院 消化器内科)

- P11-1 小児期先天性心疾患術後に成人発症した肝細胞癌に対して局所療法が有効であった1例
近藤 まゆ子 (慶應義塾大学医学部 内科学(消化器))

- P11-2 大腿骨転移に対するラジオ波焼灼と髄内釘固定の併用療法
薛 宇孝（九州がんセンター 整形外科）
- P11-3 複数の画像誘導下で施行した骨盤部軟骨肉腫再発に対するラジオ波焼灼術の1例
永田 翔馬（岐阜大学 放射線科）
- P11-4 ARFA RF ablation systemを用いた多様な臓器におけるラジオ波焼灼治療
木野田 直也（北海道大学医学研究院 画像診断学教室）

16:28~16:46

ポスター12 興味ある症例

司会：畑中 健（群馬県済生会前橋病院 消化器内科）

- P12-1 適切な再発サーベイランスと局所療法により良好な腫瘍コントロールが可能であったSVR肝細胞癌の2例
浅岡 良成（帝京大学医学部 内科）
- P12-2 肝切除後の再発に対し局所治療を繰り返し行い、治癒が得られた3症例
清家 正隆（大分循環器病院 消化器内科）
- P12-3 肝細胞癌Stage IVA期に対して穿刺局所療法／放射線療法／薬物療法併用が奏効した1例
野内 拓海（NTT 東日本関東病院 肝胆膵内科）